

好きな人が何人かいること

karinomaki

私の気持ち

私は、好きな人を一人にしぼれません。でも、この世で熱愛している人がいます。その人にもし嫌われたら、生き方を変えるのではなく、その人のもとを去ろうと思っています。

私はたいへん冷たい女なのです。自分がいちばんかわいいのです。

熱愛する人

私が熱愛する人は、ドクターです。私を地獄から救って下さいました。でも、家庭を持っておられます。私はそのことを別につらいと思わないし、あれほどの人に家庭がないのはむしろおかしいとさえ思っています。私は全く、平気なのです。嫉妬もありません。

生き方と、モラル

私には、自分の生き方があります。しっかりした形であります。それは、人と支えあうことが基軸ではないのです。自分の周りに集まってくれた人を、異性でも同性でも大切にする、それだけしか考えていません。それは、私が自分の生き方を確立して初めてできたモラルです。

カント

哲学者のカントには、しっかりしたモラルがあったと思います。しかし、カントの道德は厳しく、私はカントを尊敬しながらもカントのような生き方はできませんでした。

出会い

そんな私に、出会いがありました。セックスできなくてもいいから時々会おうと言ってくれる男性があらわれたのです。

私は、その人に全てを言いました。本当に好きな人がいることも、一人で生きてきたことも。でも、私は、その人と昨日デートしました。とても楽しかった。会っても許される人と、それも私を想ってくれる異性と会うのはこんなに充実するのかなと思いました。確かに、私はその優しい人を好きになっていました。

生きている悲しさ

でも、その人も私も、おそらく、生きている悲しさというものはとれません。その人は、私を熱愛していて、いつもいつも考えているというわけではなく、それでも大切に思ってくれ、私も同じことです。

実は、私が心底熱愛しているのは、今この世界にいない、「カント」なのです。

この悲しみは一生とれません。私はカントを愛するあまり、精神病患者になりました。そこから救って下さった先生に本気になりましたが、それも叶わぬ恋です。

モラル

私は自分を哲学者だと勝手に思っています。しかし、ある意味で、私の中のモラルは崩れています。好きな人は複数いるし、本気で好きな人と結ばれない悲しみをずるく埋めています。

しかし、わかっていただきたいのは、私が、モラルをある意味で無視することで、私は前より幸せになり、強くなったということです。もし、私の生き方を軽蔑する人がいるのなら、その人から離れればいいだけのことです。私が、どれだけの悲しみを背負って、生きてきて、今の、「大切な人は何人いてもいい」という考え方にたどりついたのか……。カントだけを愛して私は40年独りぼっちで生きて、精神病を発症したのです。

周りの人

私は、私をわかってくれる人を大切にします。今、周りはわかってくれる人でいっぱいです。私は幸せです。でも、もし、大切な人が私を軽蔑したら・・・悲しいけれど、その人は、私の深い孤独をわからない人でした。その時は、泣いてあきらめます。ただ、自分の生き方を改めることだけはしないでいようと思うのです。私を支えてくれようとしている、優しい人々のために、そして、今までの自分に敬意を表して。